

# 平成26年度予算見積調書

課室名：みどり自然課  
 担当名：野生生物担当  
 内線：3143

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B67	野生動物レスキュー事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律		戦略項目				
					分野施策	040104 生物多様性保全の推進			
<p>1 事業の概要</p> <p>傷病野生鳥獣の野生復帰を目指した治療・リハビリ等を通じて、生物多様性の保全及び県民の野生動物保護思想の啓発を図る。</p> <p>また、野鳥の高病原性鳥インフルエンザ調査により、迅速かつ的確な防疫体制に資するとともに、県民の安全、安心な生活を確保する。</p> <p>(1) 傷病野生鳥獣保護治療事業 3,240千円                  (2) 傷病野生鳥獣保護ボランティア事業 45千円                  (3) 傷病野生鳥獣保護ネットワーク整備事業 88千円                  (4) 野鳥の死亡原因調査 180千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 傷病野生鳥獣保護治療事業(通年)                  保護された傷病野生鳥獣を県獣医師会を通じて民間獣医師に委託し保護治療を行う。 3,240千円</p> <p>イ 傷病野生鳥獣保護ボランティア事業(通年)                  治療後の野生復帰に向けてリハビリ等を行う傷病野生鳥獣保護ボランティアの育成・支援を行う。 45千円</p> <p>ウ 傷病野生鳥獣保護ネットワーク整備事業(通年)                  大型の傷病野生鳥獣の搬送等について、市町村及び県とのネットワーク化を図る。 88千円</p> <p>エ 野鳥の死亡原因調査(通年)                  野鳥の不審死発生時に、環境科学国際センターで野鳥の死亡原因となる農薬等の化学物質の分析を行う。 180千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 民間獣医師、保護ボランティア及び関係機関の連携により傷病野生鳥獣の保護を行う。(傷病野生鳥獣保護治療事業、傷病野生鳥獣保護ボランティア事業、傷病野生鳥獣保護ネットワーク整備事業)</p> <p>イ 高病原性鳥インフルエンザを始めとする野鳥の死亡原因調査を行う。(野鳥の死亡原因調査)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 野生復帰率の向上、生物多様性の保全、県民の鳥獣保護思想の啓発及び行政サービスの向上を図ることができる。                  保護件数 平成23年度：855件、平成24年度：893件</p> <p>イ 野鳥の高病原性鳥インフルエンザに対する防疫体制の推進及び県民の安全・安心な生活の確保を図ることができる。                  検査件数 平成23年度：22件、平成24年度：17件</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>県10/10</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>普通交付税(単位費用)</p> <p>(区分) 林野行政費 (細目) 鳥獣行政費                  (細目) 鳥獣行政費                  (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.5人=4,750千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	3,553							3,553	48
前年額	3,505							3,505	